

指定管理者評価シート(総括)

評価期間: 令和6年4月～令和7年3月

施設名	古賀市社会福祉センター千鳥苑(しゃんしゃん含む)	施設所管課(部・課)	保健福祉部 福祉課
所在地	古賀市千鳥3丁目3番1号		
設置目的	市民の社会福祉の充実、健康の保持増進及び教養の向上に資するため。		
施設概要	市民の交流及び活動の場を提供し、また、高齢者等に対し、生きがい活動等の介護予防支援事業を実施する。		
指定管理者	社会福祉法人古賀市社会福祉協議会	指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日

評価項目				自己評価 (指定管理者)	最終評価 (委員会)	備考(所管課記載)
1 事業計画書の内容が、利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られるものであること (手続条例第4条第1項第1号)	1 利用者の平等な利用の確保	1 施設運営のための運営方針は適切か		4	3	千鳥苑については、昨年より利用者数は減ったものの、目標利用者数は達成できており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。なお、ヘルストロン室とマッサージ室の一体化による健康ルームの新設により、さらなる利用者数の増加につながることを期待する。
		2 事業内容等に偏りがないか		3	3	「感謝祭」等の行事や多目的グラウンドの有効活用等であらゆる世代に利用が広がっていること、及びバスの送迎時間外における活用についても利用回数が増えていることから、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。今後も積極的なPR活動の継続を期待する。
		3 利用者の平等な利用が確保されているか		3	3	新規の利用者に対する対応や利用団体の人数や目的に沿った部屋の紹介等、各利用者に応じた対応がなされており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
		4 利用促進への取組内容は適切か		4	3	市内の福祉会、ボランティア団体、シニアクラブ、民生委員・児童委員等と連携したチラシによるPRやホームページ、フェイスブック、LINEによる情報発信等が、利用促進につながっており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
	2 利用者へのサービス向上	1 サービス向上のための取組内容は適切か		3	3	自動販売機やミニ売店、カラオケ機器の新規入れ替え等、常に利用者目線に立った取組で利用者が気持ちよく、心地よく利用できるように努力されていることから、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
		2 利用者の意見の把握・反映の内容は適切か		3	3	利用者に対する職員の声かけや接し方等アンケートで高評価を得られており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
		3 利用者からのクレームへの対応は適切か		3	3	日ごろからの利用者に対する積極的な声かけや定期的な巡回点検等、さらにはご意見箱を設置する等、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
		4 施設の設定備等の活用の内容は適切か		3	3	団体利用の予約について、新規団体や長期継続している団体に対して、公平性をもって対応していること、また、お風呂の貸切サービスの実施等、設備を有効に活用されていることから、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
		5 地域との交流のための取組内容は適切か		3	3	地域との交流・連携による各区福祉会の活動支援や女学院看護大学の実習生受け入れによる世代間交流が図られており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
	1 施設の維持管理の内容及び手法	1 施設・設備の維持管理の取組内容は適切か		3	3	定期的な館内巡回点検に加えて、コロナ禍以降の感染症対策にも継続的に取り組まれていること、また、施設のトラブル発生時にはその都度市への報告がされており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
		2 安全管理・安全対策は適切か		4	3	定期的な館内巡回点検や防災避難・誘導・通報訓練を行うことで、日ごろからの防災意識の向上を図ることを、職員、利用者、地域へも働きかけ、実施したこと等、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。

評価項目				自己評価 (指定管理者)	最終評価 (委員会)	備考(所管課記載)
	2	施設の管理運営に係る経費の内容	1 経費節減のための取組は適切か	3	3	利用者の協力による経費削減やのれんの設置による環境に配慮した取り組みの実施等を行っており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
3 事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有しているものであること (手続条例第4条第1項第3号)	1	収支計画の内容及びその実現性	1 収支計画と事業計画の整合は取れているか	3	3	事業計画に基づき、効率的な事業運営に努めており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
	2	安定した運営が可能となる人的能力	1 職員の採用・確保・配置の方策は適切か	3	3	限られた職員で、利用者への声かけや感染対策等、効率よく業務分担をされており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
			2 職員の研修体制等は十分か	3	3	市主催の人権研修だけでなく、研修会や講習会に参加し、専門的な知識の習得に努めたこと、また、月例会議において情報共有や課題を協議することで資質の向上に努める等、計画(目標)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
4 前3号に掲げるもののほか、公の施設の設置目的を達成するために十分な能力を有しているものであること (手続条例第4条第1項第4号)	1	安定した運営のための財政的基盤	1 団体の財務状況は健全か	3	3	事業計画に基づく適正な予算執行に努めており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
	2	個人情報の保護措置・情報公開	1 個人情報の保護措置及び情報公開の取組内容は適切か	3	3	古賀市社会福祉協議会個人情報保護に関する方針等に基づき適正な取り扱いに努めており、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
	3	類似施設の運営実績	1 類似施設や類似業務を良好に運営した実績はあるか	-	-	
5 その他	1	その他の提案・企画	1 提案・企画の内容等は適切か	3	3	市内の団体との連携や積極的なPR活動により、利用者増につながったこと、バスやお風呂の有効活用等、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。
指定管理者のコメント(自己評価・PR等) 年間利用者総数は、目標41,110人に対し41,332人で、目標を達成することができました。利用者による口コミに加え、年間を通して福祉員や福祉当事者・ボランティア団体、区長、民生委員、シニアクラブ、地域包括支援センター、ケアマネジャー等の定例会議の場に、チラシ持参のもと直接PR訪問をさせていただいたこと、社協地域福祉係や第2地域包括支援センターが地域の福祉会等に出向く際にも、各種チラシの配付を依頼し事業PRをしてもらったこと、さらに、センターバスやレクリエーション用具等の貸出、チャリティ号運行の際にも、利用者・団体にチラシを配布したこと、その他様々な広報活動を行ったことにより、新規利用団体が前年度13団体を上回る20団体、個人の新規利用者も70人となりました。前年度比では、開所日数が2日少なかったことや講師・メンバーの高齢化・虚弱化による終了団体が3団体あったこと等により、887人の減少となりました。サービス面では、前年度から開始した緊急時連絡先台帳の整備に引き続き取り組み、個人・団体合わせて79人の利用者が新たに登録しました。また、送迎バスの有効活用では、通常の市内ルート運行以外の時間を活用し、5団体・68人に対する個別送迎と福祉会をはじめとする12団体・314人に対するバスの貸出を行い、地域活動団体の外出活動時の移送手段確保を支援しました。さらに、利用者の利便性向上として無料Wi-Fiの導入を行う一方で、料金面では、冷暖房使用料やカラオケ利用料の一部見直しによる料金の適正化、備品貸出時等の有料化にも取り組み、入館料・部屋利用料以外での収入増をめざしました。設置目的の1つである市民の健康の保持増進をさらに推し進めるため、新年度からのヘルストロン室とマッサージ室の一体化による健康ルームの新設に向けた準備を行いました。 しゃんしゃんでは、年間利用者総数は、目標3,160人に対し2,971人で、達成率は94.0%に留まりましたが、前年度比では70人の増加となりました。利用者や圏域地域包括支援センターからの紹介に加え、様々な機会を活用してのチラシ配布、さらに、今年度新たに企画した説明見学会の実施等により、新規利用者は前年度12人を上回る19人となりました。一方、高齢化・虚弱化による入院や施設入所又は要介護認定等によって登録終了となった利用者が、前年度20人に対し半数以下の9人に留まったことが増加の要因となりました。また、プログラム面では、ボランティアの協力や今年度新たに導入したカラオケ機の活用、職員のアイデアにより7つのプログラムを新たにに加え、運動機能や口腔機能の向上、認知症予防に取り組みしました。						

所管課のコメント(福祉課)

関係機関や地域活動団体等へ出向き、チラシの配布を行ったり、毎月の会報や市内4か所の公共施設等に掲示、設置したり、ホームページやフェイスブック、LINEによる事業案内、事業報告を行ったり等のPR活動により利用者増につながっている。また、事務所に相談窓口を常設し、日ごろから職員が利用者に声かけを行うことで、相談しやすい関係(環境)を作り、必要に応じて、関係機関へとつないだことや年2回の避難訓練のうち1回を日曜日に設定し、地域と共同で行い、緊急時の対応について情報共有したことで、利用者だけでなく、避難訓練に参加した地域住民の安心の確保に努めている。さらに、各種団体に対する大広間や多目的グラウンド、健康レクリエーション用品の利用促進を図り、送迎バスの通常運行以外の時間の貸出事業をPRLたことで、市民の健康づくりや外出促進、地域活動の支援につながっている。以上のことより、目標(計画)どおり適切に管理運営がなされていると評価する。

評価委員会のコメント

全体をとおして計画に基づき適切な管理運営が行われていると評価する。
 Wi-Fi整備や健康ルーム新設準備など、利用促進につながる取組みに積極的に取り組まれている点、継続利用団体が減少する中、利用者増となった点を評価する。
 施設の老朽化が進む中、適切に衛生的に管理されている点を評価する。
 Wi-Fi整備による新たな交流イベントの創出や近隣の施設との連携による世代間交流、多目的グラウンドの有効活用など、あらゆる世代が利用しやすい施設活用を今後期待する。